

自動運転車いすWHILLを導入しました

リハビリテーション部 副部長 さかい やすお
酒井 康生



島根大学病院は、このたび自動運転車いす「WHILL」を中国・四国地方の医療機関で初めて整形外科病棟に導入いたします。整形外科の対象である運動器疾患は、リハビリテーション（以下、リハビリ）療法の重要となりますが、手術後は一時的に歩行ができなくなる時期もあり、リハビリ室までの移動を車いす搬送に頼る場面が増えます。一方、医師の働き方改革が2024年4月から制度化され長時間労働の是正と健康を守る取り組みが進められていますが、その解決策の一つであるタスクシフトを実現するには医師を除く医療従事者の負担軽減も重要な要素です。WHILLによる自動運転サービス（整形外科病棟～リハビリ空間）は、患者さん自身にとっての移動時の負担軽減はもちろんですが、医療スタッフ側の搬送に伴う負担も軽減します。結果として医師の働き方改革の支援にもつながることが期待されます。

整形外科病棟でのWHILL運用経験と実績をもとに院内他部署での活用へと展開し、一層の医療従事者の業務効率化と医師の働き方改革の推進を目指します。WHILLは、少子高齢化が進み労働力不足が問題となる地域の医療機関では理想的なタスクシフトのモデルケースになりうると考えています。島根大学病院から、全国の病院に向けた未来への情報発信を目指します。

問い合わせ先 リハビリテーション科医局 TEL:0853-88-3047

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

6月15日～7月14日

対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
7/7(日) 13:30～15:30	出雲市民フォーラム ～島根大学病院の最新治療～	島根大学医学部 臨床小講堂	一般	島根大学医学部 総務課企画調査係

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2024年
6月
Vol.128

NEWS



CONTENTS

表紙: 解剖学講座 教授 藤谷 昌司

中表紙
・最近の医学教育制度のご紹介とご協力のご願い
・看護の基礎教育について

裏表紙
・自動運転車いすWHILLを導入しました
・研修会・講演会・セミナー開催情報



最近の医学教育制度のご紹介とご協力のお願い

医学部医学科長 かじ やすし
楫 靖

鳥根県内の医療機関の皆様には、地域医療実習をはじめとして様々な学生教育にご協力を賜り感謝申し上げます。ここでは、最近の医学教育制度の一部をご紹介します、改めてのお願いをさせていただきます。

医師を目指す学生に適切な医学教育がなされているか、大学が問われる時代です。医学部では、昨年秋に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審しました。その中で地域での臨床実習は優れていると評価されましたが、「卒業生が将来働く環境からの情報を得て、教育プログラムを更に改良すること」との指摘を受けたため、地域の医療機関で、学生がどのように行動しているか、学生教育に何が足りないか、等について先生方のご意見を伺う機会を設けたいと思います。



また、学生は臨床実習の前に、共用試験と呼ばれる CBT (知識) と OSCE (臨床技能・態度) の二つの試験に合格せねばなりません。OSCE の実技評価は、他大学教員や臨床研修病院等の指導医にも内部評価者として評価をしていただき、試験の公平性や客観性を担保することが必要です。OSCE の評価者になるには講習会の受講が必要ですが、ぜひ、県内の先生方にも講習会を受講していただき、内部評価者として本学の医学部教育をご支援いただければ大変ありがたいです。講習会受講に関しては、医学部学務課 (メールアドレス: msa-kyomu@office.shimane-u.ac.jp) へお問い合わせ下さい。

先生方に学生がお世話になる機会が増えれば、臨床実習を行う学生や初期臨床研修医は指導いただく先生方をより身近に感じ、素直な心で意見を述べ質問ができるようになると思います。先生方にとっても、医学教育制度を共通の話題として学生や若手医師との会話が進むかもしれません。鳥根大学の医学部教育を適切なものとするために、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

看護の基礎教育について

医学部看護学科長 つもと ゆうこ
津本 優子

鳥根大学医学部看護学科の教育課程を修めると、看護師の国家試験受験資格が得られますが、それは本学科が一定の水準を備えた教育施設としての基準を満たしていると認定されているからです。この基準は、社会の変化に合わせて定期的に改正されており、それに基づいて各教育施設はカリキュラムを変えます。直近の改正による新しいカリキュラムで学び始めた学生達は3年生となり、10月から附属病院や訪問看護ステーション等、多様な場での臨地実習が始まります。

この直近の改正において教育内容に含める新たな事柄の一つに、「情報通信技術 (ICT) を活用するための基礎的能力を養う内容を含むものとする」が挙がっていました。すでにスマホという ICT の先端が詰まったデバイスを使いこなす学生たちは、コロナ禍のオンライン授業で機械に不慣れた教員を助け、e-learning システムを使いこなして課題を提出し、卒業すれば電子カルテを自在に扱うようになります。そして近い将来、オンライン上でも戸惑うことなく看護を提供したり、AI 搭載の様々な医療ロボットと一緒に働いたりするようになるでしょう。

基準の改正のたびに学習内容が増えていく一方、看護の本質的な部分の学習は変わりません。ナインチンゲールをはじめ、多くの理論家が様々な観点からの看護理論を開発してきましたが、患者さんに向ける目や手、そして言葉のもつ本質は変わることはありません。よって、教育現場に新しい技術を取り入れて創意工夫することはもちろん、学生一人ひとりの、看護職として働いていくうえで基盤となる看護観を大切に育んでいく場である、という本質を大事にしたいと思います。





お知らせ



医師会・歯科医師会会員向け「休日人間ドック」のご紹介

やの しょうぞう
臨床検査科長 矢野 彰三

当院では、島根県医師会・歯科医師会会員様限定の「休日人間ドック」を実施しており、毎年多くの先生方に受検して頂いております。がんを含め、さまざまな疾患の早期発見には定期的なチェックが欠かせません。安心して過ごしていただけるよう、是非当院のドックをご利用ください。3回とも日曜日に実施しますので平日の業務に支障がなく、大変好評をいただいております。

オプションとしてPET/CTによる「全身ドック」が可能です。PET（陽電子放出断層撮影）とCT（コンピューター断層撮影）を組み合わせたPET/CTは、がんの早期発見、初期診断、転移や再発の診断に有効な検査です。オプションとして「全身ドック」を選択していただいた場合、PET/CTは別日（平日）に実施しますが、PET/CTのみを予約することも可能ですので、お気軽にお問合せください。

当院の人間ドック基本コースは、基本健診、眼底カメラ、腫瘍マーカー、診察を含み、健診の結果、必要な場合は紹介状を作成します。オプションコースや料金についてはHP (<https://hdrs.med.shimane-u.ac.jp/index.html>) でご確認ください。

なお、WEB でのご予約のみとなっておりますのでご注意ください。皆様の健康維持のため、この機会に当院の「休日人間ドック」を受検されてみてはいかがでしょうか。

島根大学医学部附属病院 休日人間ドックのご案内

いつもお世話になっている島根県の医師会・歯科医師会の先生方を対象に本年度も休日人間ドックを企画致しました。多忙を極める先生方と思いますが、休日を利用してがんや生活習慣病などの早期発見をお手伝いします。エキスパートによる精密診断が受けられる当院の人間ドックを受検し、健康なワークライフを送って頂きますようご案内いたします。

臨床検査科 矢野 彰三

申込受付：Webにて受付中！！

日程：第1回：7月28日(日) 申込締切：6月16日(日)
第2回：9月29日(日) 申込締切：8月18日(日)
第3回：11月17日(日) 申込締切：10月6日(日)

STEP 1 <http://hdrs.med.shimane-u.ac.jp/index.html> (当院臨床検査科HP) ホームページよりWeb申し込みを行ってください。(HP内左下の申し込み手順参照)
臨床検査科人間ドック「ご予約はこちら」よりお進みください。
Password: KD2024aq8

STEP 2 予約確定後すぐに予約完了メールが届きます。内容に誤りがないかご確認ください。

注意事項

- 申し込み方法はWeb申し込みのみとなっております。
- 予約完了メールの内容に誤りがある場合は、下記へお問い合わせ下さい。
- 来院・終了時刻のご要望は承りかねますのでご了承下さい。(特にMRIは午後になる可能性がありますので、予めご了承ください)

お問い合わせ先

島根大学医学部附属病院臨床検査科
電子メール：dock@med.shimane-u.ac.jp
電話(留守電対応)：0853-20-2559
※留守電に御名前・連絡先・ご用件をお話し下さい。後日担当者からご連絡します。

当院の休日人間ドックは島根県医師会・島根県歯科医師会の先生方を対象にご案内しています



お問い合わせ・ご予約

臨床検査科
電話：0853-20-2559



お知らせ



(Impella:補助循環用ポンプカテーテル・経皮的補助人工心臓)

島大病院にインペラが導入されます

総合ハートセンター センター長

循環器内科 教授

心臓血管外科 教授

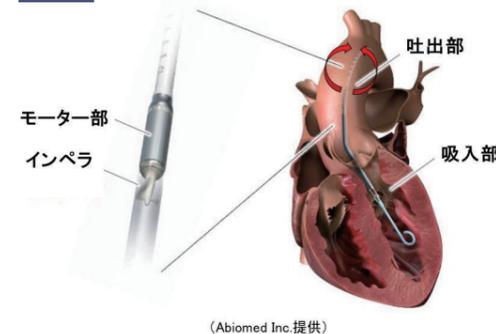
えんどう あきひろ
遠藤 昭博
たなべ かずあき
田邊 一明
やまざき かずひろ
山崎 和裕

医学の進歩により重症心不全の治療成績は向上しつつありますが、それでも急性心筋梗塞による心原性ショックの死亡率は30～50%とまだまだ満足いくものではありません。重症心不全に対する機械的循環補助として以前から経皮的心肺補助装置(percutaneous cardiopulmonary support: PCPS)が使用されておりますが、2017年から臨床使用が可能となった補助循環用ポンプカテーテル(インペラ)による更なる救命率向上に期待が寄せられています。そのインペラを当院に導入します。

インペラは左心室に留置した先端の吸入部から血液を吸い込み、内蔵された超小型ポンプで血液を大動脈内の吐出部から順行性に送り出すことにより、収縮力の低下した左心室の負荷を大きく軽減して心臓の回復を手助けするとともに、順行性血流を増加させ動脈圧が上昇し血行動態を改善します。心カテ室またはハイブリッドERで大動脈から経皮的に、あるいは鎖骨下動脈から外科的に挿入し、ICUで管理を行います。急性心筋梗塞のほか、劇症型心筋炎、慢性重症心不全の急性増悪、開心術後心原性ショックなどが適応となり、補助人工心臓や心臓移植への橋渡しの役割を担うこともあります。

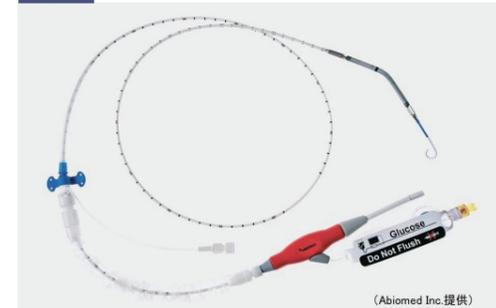
当院は、6月からインペラの運用を開始する予定です。現在、この先進的医療を安全に導入すべく、当院ハートチーム・集中治療部・高度外傷センターが一丸となって準備を進めております。島根県の重症心不全治療の更なる向上を目指して努力してまいりますので、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

図1 左室内に留置されたインペラ



(Abiomed Inc.提供)

図2 インペラカテーテル



(Abiomed Inc.提供)

図3 キックオフミーティング



問合せ先

総合ハートセンター・循環器内科 医局 TEL: 0853-20-2249
心臓血管外科 医局 TEL: 0853-20-2225





ご報告

島大病院ニュース 2024年6月

左から椎名浩昭病院長、(医学科5年)福田桃子さん、(医学科4年・柔道部主将)田村泰地さん、石原俊治医学部長、(柔道部顧問)新野大介教授



令和5年度学生表彰を行いました

学務課学生支援・総務担当

2024年4月26日(金)に医学部長室にて学生表彰を行いました。学生表彰は、学業成績が優秀な学生、学術研究・課外活動・社会活動等において優れた業績を残した学生団体や学生を表彰するものです。今回は、令和5年度に優れた業績を残した学生団体、学生を表彰しました。

医学部柔道部は、スペシャルオリンピックス日本・島根 柔道競技会でのボランティア活動、ニュージーランド・インドネシアで現地の柔道家との親善交流等の社会活動を行い、高い評価を受けました。

医学科5年福田桃子さんは、成体脳における神経幹細胞分裂のメカニズムについて、分子レベルで詳細に解明した研究結果をまとめ、日本解剖学会第77回中国・四国支部学術大会で口頭発表を行いました。さらに、International Journal of Molecular Sciences 誌に論文投稿もしました。これらのことが学術研究において、特に顕著な業績を挙げたと認められました。

学業の忙しいなかで、課外活動や学術研究で成果を出される学生は、他の学生の模範となります。さらなる活躍を期待しています。

問合せ先 学務課学生支援・総務担当 TEL: 0853-20-2088



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



ご報告

島大病院ニュース 2024年6月

写真1



写真2



写真3



アヒル型ロボット

My Special Aflac Duckの贈呈式

小児科学講座 教授

たけたに たけし
竹谷 健

病棟保育士

つばき あつみ
椿 敦美

チャイルドライフスペシャリスト

くろさき
黒崎 あかね

「嬉しい」「悲しい」「こわい」「イライラする」など、自分の気持ちを言葉で伝えることはできますか？先日、アフラック生命保険株式会社から、小児がん治療中の子どもたちに、アヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」を寄贈していただきました。(写真1)

治療をがんばっている子どもたちの相棒となるようにアメリカで開発された「My Special Aflac Duck」は、喜怒哀楽などの7つの気持ちを表すカード(写真2)をアヒルの胸元にかざすとアヒルがそれぞれの気持ちをアヒル語でおしゃべりします。(写真3)子どもたちは、「何を言っているのか?」「なんだか楽しそう」など、アヒル語を想像して遊び、アヒルに自分の気持ちを代弁してもらうことができます。「なんで私だけ病気になったの」「もう注射はしたくない」「悲しいけど泣けない」「友達ができて嬉しい」など、入院中の子どもたちは、治療や入院生活の中で、複雑な気持ちに直面します。しかし、言語発達が途上である年齢の子どもたちや、ネガティブな気持ちを表現するのを遠慮してしまう子どもたちがいます。そのような子どもたちは、自分の気持ちを表に出すことができずに精神的なストレスが溜まってしまいます。「My Special Aflac Duck」は、そんな子どもたちにそっと寄り添ってくれます。「My Special Aflac Duck」を受け取った子どもたちは、ワクワクした表情で箱を開け、アヒルをぎゅっと抱っこしていました。一緒に寝て、ゲームをするときも隣に座らせて、ふわふわのアヒルをなでると、嬉しそうにおしゃべりで反応してくれます。

子どもたちは、どんな病気や治療に対しても、大人が思っている以上の「がんばる力」を発揮してくれます。これからも小児がんの子どもたちへの理解と支援の輪が広がることを願っています。

問合せ先 小児科学講座 TEL: 0853-20-2221



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





ご報告

看護部で

インターンシップ及び 病院見学会・説明会を 開催しました



看護部長 かわかみ としえ
川上 利枝

看護部では、看護職を目指す学生(2025年3月卒業予定)を対象に、2024年3月19日(火)、22日(金)にインターンシップ、4月28日(日)、29日(月祝日)に、病院見学会・説明会を行いました。

インターンシップはコロナ禍の影響もあり、3年ぶりの開催となり、2日間で県内外の看護学生を中心に56名の参加がありました。希望の部署での看護体験や、先輩看護師との意見交換会を行いました。参加者からは「実際に病棟の看護師がPNS[®](パートナーシップ・ナーシング・システム) ¹⁾でフォローし合いながら看護されている姿をみる事ができた」「優しく対応して下さりよい雰囲気だった」など、意見がありました。

病院見学会・説明会は2日間で48名の参加があり、病院・看護部の概要、勤務体制、教育体制等の説明、院内の病棟や外来部門の見学、先輩看護師との意見交換を行いました。

救命救急センターや高度外傷センターでは、救急救命士より外傷ドクターカーの設備の説明や、初療室、ハイブリッドERの見学があり、参加者からは、「普段見ることのできない部署の見学ができよかった」との意見がありました。また先輩看護師との意見交換会では、当院を就職先に選んだ理由や働きやすい環境について意見交換でき、先輩看護師を身近に感じる時間となりました。

注: 1)年間パートナーや日々のペアとなった看護師が、双方の受け持ち患者に関する事柄を確認し、情報交換を行いながら二人三脚で看護を提供する方式

問合せ先 看護管理室 TEL: 0853-20-2478

写真1



看護部概要、教育体制等の説明

写真2



部署での看護体験

写真3



高度外傷センターハイブリッドER見学

写真4



先輩看護師との意見交換



ご報告

島大病院の空に「こいのぼり」が揚がりました

総務課総務係

子どもの日を前に、今年も『島大病院こいのぼり掲揚セレモニー』を行いました。

4月18日(木)当日は、心地よい春の風が吹き、こいのぼりを揚げるまたとない機会となりました。例年、うさぎ保育所「ひまわり組」のみならず協力して揚げているのですが、今年は「こすもす組」の園児も見学に来てくれることとなり、総勢45名での参加となりました。

椎名病院長からのお話の後、子どもたちが「こいのぼり」と「ホ・ホ・ホ」の2曲を元気よく歌ってくれ、いよいよこいのぼりを揚げる時が来ました。

子どもたちは椎名病院長、川上看護部長とともに交代で、元気に紐を引き、みんなで力を合わせてこいのぼりを揚げました。近くでこいのぼりを見た園児からは「大きい〜!」「おも〜い!」など様々な感想が飛び交い、楽しんでいる様子でした。こいのぼりが空高く泳ぎ始めると、拍手と歓声が沸き起こっていました。

こいのぼりは、ゴールデンウィーク明けまで病院の空を泳ぎ、病院に入院している子どもたちや訪れる人々を楽しませてくれました。昨今の住宅事情や時代の変化に伴い、街中でこいのぼりを見かけることも少なくなっているため、こいのぼりが泳ぐ様子を立ち止まって見ておられる方や、写真を撮って楽しんでおられる方も見かけました。子どもたちの健やかな成長を願いつつ、空高く元気よく泳ぐこいのぼりを見て、少しでも患者さんの心の癒やしになることを願っています。



問合せ先 総務課総務係 TEL: 0853-20-2016





お知らせ

島大病院ニュース 2024年6月



READYFOR 島根大学 呼吸器診療 レディーフォー
お問い合わせ先 メール: koka-nai@med.shimane-u.ac.jp TEL: 0853-20-2580

目標金額・寄付募集期間

第一目標 **400** 万円

2024年 5月 13日 (月) から
6月 30日 (日) まで

寄付募集ページ



5月13日(月)から閲覧が可能になります!
<https://readyfor.jp/projects/shimane-isobe2024>

慢性呼吸器疾患・肺がん、呼吸器感染症で苦しむ島根県の方を1人でも多く救いたい。 クラウドファンディングに挑戦しています!

呼吸器・化学療法内科 教授 いそべ たけし 磯部 威
助教 はまぐち めぐみ 濱口 愛

『呼吸器診療の基盤を整え、健康増進へ寄与する』ことを使命に当院・呼吸器内科がクラウドファンディングに挑戦しています!

私たちは慢性呼吸器疾患(喘息、COPD、間質性肺炎)・肺がん、呼吸器感染症(肺炎、肺結核、非結核性抗酸菌症)の患者さんと日々向き合い、治療に取り組んでいます。しかし、島根県内で呼吸器疾患を診ることができる医師やスタッフはまだ足りず、患者さん全てに適切な医療を届けることができていません。

また呼吸器疾患は予防、早期発見が重要です。そのためには呼吸器専門医だけでなく、非専門の先生方との連携、更には患者さん自身の疾患理解も大切です。私たち島根大学呼吸器内科チームは「呼吸器専門医、呼吸器専門スタッフの育成」「非専門医の先生方の呼吸器疾患の知識向上」「市民の方への啓発活動」を柱に活動を行っています。

クラウドファンディングでいただいた資金により、若手医師、メディカルスタッフの生涯教育に必要な勉強会開催、研修の支援を行い、ホームページを作成し、呼吸器疾患の理解を深めるコンテンツを提供し、また、市民公開講座を開催し、呼吸器疾患の啓発活動を行います。

目標金額は 400 万円です。

呼吸器疾患を持つ皆様が未永く健康に暮らせる未来のため、是非、ご支援をお願い致します!

問合せ先 内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学事務室 TEL: 0853-20-2580



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



ご報告

島大病院ニュース 2024年6月

腎機能の長期間変動の可視化について

統合腎疾患制御研究・開発センター センター長 かなさき けいぞう 金崎 啓造

推算糸球体濾過量 (eGFR) は日々の変動が大きいため、慢性的な腎機能低下に気づくためには、数ヶ月や1年程度のデータだけでは不十分なことが多いです。この問題に対処するため、統合腎疾患制御研究・開発センター (IKRA) では、電子カルテ上に「第三世代 Long term eGFR plot (LTEP: エルテップ)」を導入しました。これは全国の大学病院で初の導入例です。第三世代 LTEP は、過去の全 eGFR データをグラフに展開し、HbA1c、尿蛋白、尿アルブミンなども自動で同時に表示します。長期間の eGFR の傾き (eGFR slope) の変化を観察することで、SGLT2 阻害薬などの介入が eGFR slope に与える影響を直感的に理解できます。また、手術や造影検査、特定の薬物介入が長期間腎機能に与える負の影響も確認でき、予防介入の重要性を認識していただくことが可能です。結果のプリントアウトや画像の取り込みも行えるため、患者さんや地域の先生方・医療従事者の皆様との情報共有に役立ちます。

島根大学から、LTEP を用いた潜在的な腎疾患症例の特定を通じて、個々の症例に最適な精密医療に結びつけるロールモデルを情報発信してまいります。

LTEP模擬症例(大津市民病院 中澤医師より提供)



介入前、腎機能は直線的に低下しており63~68歳ごろに透析導入となる可能性があった。薬物Xによる介入により著しい腎機能低下抑制が測られ、計算上は透析導入なく100歳を迎えることができる。実際のカルテ上ではDeGFRはグラフの上部に、その他にeGFRcys、尿蛋白、尿アルブミン、HbA1cのグラフ上への表示も可能となる。

問合せ先 内科学講座内科学第一事務室 TEL: 0853-20-2183



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





ご報告

島大病院ニュース 2024年6月

救急救命士が ICLSインストラクター資格を取得しました！

院内救急・合併症対策支援センター 副センター長 しもじょう よしひで 下条 芳秀

院内救急・合併症対策支援センターでは、院内スタッフの蘇生能力の向上を目的としてICLS (Immediate Cardiac Life Support; 二次救命処置) コースを定期的で開催しています。ICLS コースは突然の心停止に対して最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得することを目標としたoff the job trainingで、あらゆる医療従事者が受講対象になります。

このたび、高度外傷センターに所属する阿部啓太救命士、松岡冴救命士の2名がICLSインストラクター資格を取得しました。これにより病院救命士の本来業務である救急現場におけるチーム蘇生力向上はもちろん

のこと、インストラクターとして院内や地域の救命の連鎖を拡げる取り組みにも大きく貢献できると考えています。引き続き、院内スタッフ一丸となって予期しない院内心停止ゼロを目指して努力してまいります。

現在、当センターではICLS普及に向けて一緒に活動してくれる医療従事者の仲間を募集中です。この活動に興味のある方は是非ご連絡ください。



写真1 左より阿部啓太救命士、松岡冴救命士



写真2 コース風景



写真3 集合写真

問合せ先 Acute Care Surgery 講座 医局 TEL : 0853-20-2757



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



ご報告

島大病院ニュース 2024年6月

当院での心アミロイドーシス診療について

循環器内科 医科医員 たなべ じゅんや 田邊 淳也
助教 かわはら ひろし 川原 洋
助教 さとう ひろとも 佐藤 寛大

心アミロイドーシスは、アミロイド蛋白という異常蛋白が心臓に蓄積し、心臓の壁が厚くなり(肥大)ポンプ機能が低下する疾患です。この病気は心不全、弁膜症、不整脈の原因となり、むくみ、息切れ、動悸、失神などの症状が現れ、日常生活に支障をきたします。心アミロイドーシスは他の心筋症と比べ予後が悪く、早期診断と治療介入の重要性が高まっています。

心臓に蓄積するアミロイド蛋白には複数の種類があり、治療法もそれに応じて異なります。特に昨今注目されているのが野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスで、これは加齢に伴いアミロイド蛋白が蓄積する病態です。2019年3月より、この病状の進行を抑制する効果が期待されるタファミジス(ビンダケル)が治療薬として利用可能となりました。ただし、適正な使用には施設と医師の要件が日本循環器学会より定められており、島根県では現在、当院が唯一認可されたビンダケル導入施設です。

心アミロイドーシスに対して、島根県のビンダケル導入医師として認定された医師はこれまでただ1人でしたが、2024年4月から新たに3名が認定されました。アミロイドーシスは全身疾患であるため、地域の医療機関の皆様からのご協力をいただきながら、院内での連携を深め診療にあたっております。

図1 心アミロイドーシスとは

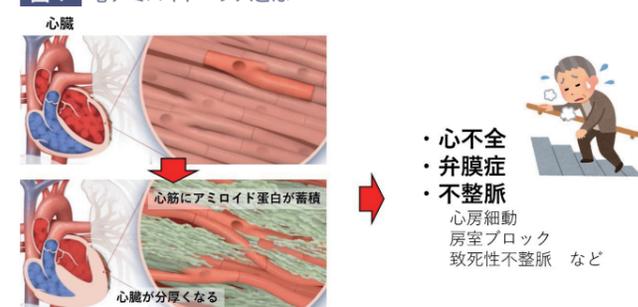
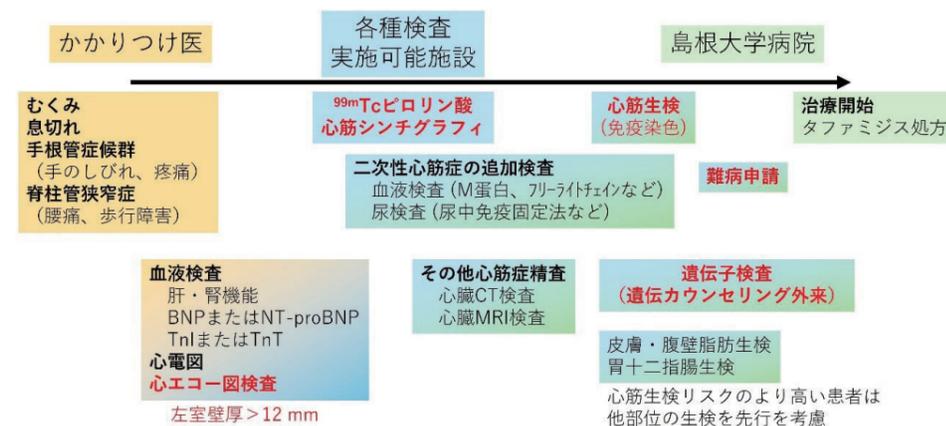


図2



当院における心アミロイドーシス診療の流れ(かかりつけ医→各種検査実施可能施設の場合)

問合せ先 循環器内科 医局 TEL : 0853-20-2249



2024年6月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

